

平成28年度 第2学年 授業改善プラン

教科	観 点	課 題	指導の視点	具体的な手立て・改善策
国語	国語への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話を集中して聞くことが苦手で、大事なことを聞き取れないことがある。</li> <li>・漢字の意味を正確にとらえられていないので、漢字の音だけあてはめて書いている。また画数の多い少ないにかかわらず、書き順の間違いが目立つ児童が多い。</li> <li>・作文ではまだ助詞の使い方や、句読点の打ち方が正しくない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞く時の姿勢や聞き方の約束を確認させる。</li> <li>・漢字の意味をとらえられるようにする。</li> <li>・文章の約束ごとを確認させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教科の中で、聞く態度を指導していく。</li> <li>・新出漢字指導の時に、成り立ちや意味をしっかり指導する。定期的な既習の漢字テストを行う。</li> <li>・文章を書く機会を増やす。語彙が増えるように、読書指導も取り入れる。</li> </ul>
	話す・聞く能力			
	書く能力			
	読む能力			
	言語についての知識・理解・技能			
	全国学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字を活用する力を養う。</li> <li>・物語文から登場人物の気持ちを読み解く力を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読み書きテストを実施する。</li> <li>・吹き出しや書き込みを取り入れ、場面の様子を想像しやすくする。書き込みしたことについて友達と交流をもつ。</li> </ul>	
算数	算数への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決が自分一人ではなかなか考えられない。</li> <li>・繰り上がり繰り下がりの計算の習熟に個人差が大きい。早くできてもミスがある。</li> <li>・文章問題では、まず質問の意味がわからない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物や絵、図を使って考えられるように指導していく。</li> <li>・既習事項を繰り返し練習し、力を伸ばす。</li> <li>・文章題を通して、問題の意味を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えたことを文や式や絵やタイル図などに表したり、説明したりする様々な活動を増やす。</li> <li>・計算練習を短い時間で継続して行っていく。</li> <li>・自分の考えだけでなく、友達の考えもしっかりノートに記録させ、比べて考えるようにさせる。</li> <li>・加法や減法が使われる場面のプリントに取り組ませることにより、理解を深める。</li> </ul>
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能			
	数量や図形についての知識・理解			
生活	生活への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動は喜んで行うが、観察したりまとめたりすることが苦手な児童が多い。また観察記録を書く際、書く内容を考えるのが難しい児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視点を明確にする工夫を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の学習を生かしながら、書く内容のポイントを明確にしていく。</li> </ul>
	活動や体験についての思考・表現			
	身近な環境や自分についての気付き			
音楽	音楽への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールに則って音楽に合わせて身体を動かしたり歌ったり演奏したりすることが難しい児童がいる。</li> <li>・鍵盤ハーモニカで易しい旋律を吹くことに能力差が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拍感を身に付け、音楽に合わせて歌ったり演奏したりさせる。</li> <li>・音と指番号を習慣的に意識づけさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽室のルールをしっかり意識付けさせ、楽しく歌ったり、身体表現をしたりするなかで、拍感やリズム感を身に付ける。歌唱や器楽では、歌声や奏法に気をつけて歌ったり演奏したりさせる。</li> <li>・階名唱をしながら、指遣いを覚え、易しい旋律を鍵盤ハーモニカで吹けるようにする。</li> </ul>
	音楽表現の創意工夫			
	音楽表現の技能			
	鑑賞の能力			
図画工作	造形への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何を、どう作るのか、制作課題への理解が十分にできず、安易な思い込みの中で制作を進めてしまう児童がいる。</li> <li>・他の表現のよさを感じ取ったり、表現の工夫を学んだりという雰囲気は希薄である。</li> <li>・展覧会に向けて、よりよい表現の工夫をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考作品の例示の仕方と、発達段階を考慮した説明の仕方を工夫をする。</li> <li>・鑑賞活動を充実させる。</li> <li>・表現は伝えたいという思いから生まれ、作品として形になったものであることを意識させ、制作に臨ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作過程をいくつかの段階に区切り、段階ごとに、参考となる作品の例示をする。</li> <li>・課題名、めあてを掲示物として大きく作成し、授業中は常に黒板に掲示し、意識させる。</li> <li>・制作途中において、グループの中で、お互いの作品の良さを見つけ合う鑑賞活動をする。</li> <li>・作品チェックを細目に行い、より豊かな表現へのアドバイスをする。</li> </ul>
	発想や構想の能力			
	創造的な技能			
	鑑賞の能力			
体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな運動遊びでの動き方、ボールゲームでの動き方など、技能的な面で個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の時間には、運動量を確保していく。休み時間更に体を動かす遊びをができるようにしていく。</li> <li>・コーディネーショントレーニングを活用し、体の基本的な動きができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の時間の流れを事前に計画して、運動量が落ちないように指導していく。</li> <li>・それぞれがスモールステップで技能を伸ばせるよう、場の設定、動きのポイントの提示、学習カード等を工夫する。</li> </ul>
	運動や健康・安全についての思考・判断			
	運動の技能			
	健康・安全についての知識・理解			